

行事／取組名称	プレチャレンジ in 徳島（物理チャレンジ講習会）		
担当者	味野道信、原田 勲（JPh0）、元山 茂樹、安崎 輝彦（徳島県教委）		
開催日時・期間	平成 29 年 1 月 29 日（日） 10 時 00 分～16 時 40 分	会場	徳島県立総合教育センター（板野町）
主 催	徳島県教育委員会	後援	
共 催	物理オリンピック日本委員会（JPh0）		
協 賛			
概要			
徳島県教育委員会は、現在科学教育に熱心に取り組んでおられる。今回、JPh0 にプレチャレンジ開催の要請があり、近くの岡山から味野、原田が対応した。特に今回の講習会には、高校の先生方も引率を兼ねて多く参加していただき、講習内容にも興味を持つとともに、講習会後に科学教育について懇談した。 参加した高校生たちは、プレチャレンジを通して物理への興味を深め、特に実験を行って物理の楽しさの別の一面を経験し、物理チャレンジ大会などへの挑戦意欲を一層高めたものと思っている。			
参加者	教員	高校生	中学生
教員 8 名		23 名	0 名

報告事項
今回徳島県教育委員会は昨年に続き、県内の高校生で物理に関心のある生徒を中心にプレチャレンジへの参加者を募り、物理チャレンジへの挑戦や物理好きを増やす試みとして企画された。この活動は、「理数分野で卓越した意欲・能力を有する生徒を発掘し、その意欲・能力をさらに伸ばす取組を行うことで、国際的に活躍できる科学者、科学技術者の育成を目指す」という JPhO の趣旨に整合し、JPhO はこの活動を支援するためにプレチャレンジ in 徳島（物理チャレンジ講習会）を開催した。 プレチャレンジ in 徳島は下記のスケジュールで行われた。最初に原田が物理チャレンジや JPhO の紹介、物理への誘い、実験レポートの書き方について講義した後、午後から味野が偏光に関する実験（2010 年の問題の一部）を行い、参加した生徒や教員も興味深くそれらの実験器具を操作し、測定すべき物理量を観測した。参加高校生は低学年であり、物理未履修者もいたので、内容はあまり理解出来ない生徒たちもいたが、それでも普段あまり触らないような実験器具に興味深げに操作し、指導者の指示に従って最後の測定まで頑張る姿が印象的であった。 10：00～10：10 開会・講師紹介・諸連絡 10：10～11：00 「物理チャレンジと国際物理オリンピック」 11：00～11：30 「物理への誘い」 11：30～12：00 「実験レポートの書き方」 13：00～15：50 「光の波動性に関する実験」 15：50～16：00 閉会・諸連絡・アンケート 16：00～16：40 引率教員との懇談 「これからの科学教育についての意見交換・情報交換」 多くの参加者は、プレチャレンジで見たり聞いたりした事柄や物理的現象の背後にある簡単な法則に興味を示したようで、これらの参加者に物理への興味を喚起できたものと自負している。また、昨今の新しい科学教育について、現場の先生方の悩みや目指すところについて意見交換できたことは、今後の JPhO の活動にも生かされる有意義な時間であった。後日、徳島県教育委員会の元山先生からは“アンケートや写真に写っている生徒の表情を見ていると、生徒たちにとって貴重な経験になったものと思います。また、引率の先生方も大変楽しんでくれたものと思います。”とのコメントを戴き、この企画が有意義であったことを信じたい。 最後に、この様なイベントを企画し、生徒たちに科学現象に対する興味を持たせる取組を継続されている徳島県教育委員会に、敬意を払うとともに感謝を申し上げる。

プレチャレンジの風景

